

平成 23 年度
卒業・修了予定者による
フィードバック調査結果

平成 24 年 6 月
教育・国際室 教育支援グループ

目次

1.	総評	1
2.	集計結果（学士課程）	4
3.	集計結果（大学院課程）	8
4.	平成 22 年度との比較（学士課程）	13
5.	平成 22 年度との比較（大学院課程）	17
6.	実施要綱	20
7.	アンケート項目	22

平成23年度卒業・修了予定者によるフィードバック調査の総評

副理事（教育改革担当） 古澤 修一

今回で3回目の調査を実施しましたが、昨年度より15%程度アンケートの回収率は下がってしまいました。学部間およびプログラム間、研究科間でも回収率に差がありました。アンケート結果の信頼性を向上させるためには、より多くの学生さんに大学に対して意見を出していただき、後輩のためにフィードバックできるようにしていかなければいけません。そのためには広報や各部局での周知などの対策が必要と考えます。大学評価としての認証評価の一部に、現況調査票などとして各部局の教育・研究のレベル、向上に向けた取り組みなどを記載しなくてはなりません。このことは、国立大学法人として、社会に説明する責任および義務があります。この評価が悪ければ、大学全体の評価にも影響がでます。各学部・研究科で今回の学生の声を真摯に受け止め、改革・改善という向上に向けた取り組みに役立てて戴きたく、宜しく願いいたします。

（学士課程）

学士課程卒業予定者のアンケート結果から見えることは、部局により、若干の増減はありながらも、全ての項目で平成22年度とほとんど変化がありませんでした。このことは、全ての項目に関して、各部局で問題視できていない、あるいは問題視して改善を行ったが、その効果はまだ現れていないことを意味します。

- 1) 全体的に、昨年度と同じく教養教育への満足度と専門教育への満足度は相関していました。ガイダンスなどを有効に活用し、専門教育および教養教育の意義をわかりやすく説明して戴きたいと思います。
- 2) 到達度評価の活用法は、依然として「活用しなかった」「存在を知らなかった」と回答した学生が半数を超えていることを重く受け止める必要があります。教育・国際室でも到達度評価に関して各プログラムの意見を踏まえ、見直しを図ることを検討していますが、プログラム配属時でのガイダンスや専門授業の中など、機会があるごとに適切な説明を行って頂きますようご配慮をお願いします。
- 3) チューターの履修指導については、適切だと思う学生が80%と昨年よりも少し向上しています。全学で行うチューター研修会以外に、プログラム担当教員会などで履修指導に関する情報交換を行うなどチューターが効果的に学生指導を行える環境の整備を行って戴きたいと思います。
- 4) 研究室配属では、全学的に概ね満足度が高いのですが、一部低い学部が見受けられます。卒業研究への有意義度との相関もありますので、教員への指導力の強化、あるいは別の観点からになりますが、研究室配属時の学生へのガイダンスの強化（卒業研究の意義な

どの解説) がなされることを希望します。

5) 福利施設や課外活動施設の満足度は、霞地区に於いて利用していないなどの回答が多く見られるようです。法学部、経済学部でも利用していないと回答した割合が比較的高いことを見ると、東千田キャンパスも同様に施設・設備の充実度が低いことがいえるでしょう。スペースの問題などもあり解決は難しいですが、改善していくために検討が必要でしょう。

6) 「あなたが広島大学で受けた「学士課程教育」について、改善すべき点があれば記述して下さい。」の自由記述から、気になった点をいくつかこの場で紹介します。

- 大学で何を学ぶのか、教養教育は何故必要なのか等、適切な指導が欲しかった。
- 大人数講義では、五月蠅い学生をしかって欲しい。
- チューターが、個々の学生の成績や単位などを理解して、もっと説明して欲しい。
- テストやレポートの結果の反省をするためにも、悪かった点を指導して返却して欲しい。
- 批判的思考力や論理的思考力を養う教育を受けたかった。
- 一方通行の講義では無く、教員と学生が活発に質疑応答できる講義を受けたかった。
- 語学の卒業要件化は必要。
- 授業評価アンケートを行っても改善が見られない。
- 霞における自習室等の学生支援・学習環境に不満である。
- 教員の情熱が感じられない講義があった。
- 教員は教育者としての自覚を持って欲しい。
- シラバスに講義内容の記載が無いものがあり、苦勞した。
- 霞では就職支援の対応が良くなかった
- 声すら聞こえない講義を行う教員がいた。
- 24時間利用できる学習スペース・図書館が欲しかった。

(大学院課程)

全体的に、回答率が低いため、この結果を受けて何かを気づくということは困難です。特に10人前後しか回答がない研究科があるため、研究科ごとの比較は困難な状況ですが、自由記述を含めて、大学として改善が必要な部分があれば、積極的に改善をお願いいたします。

1) 大学院教育で修得した専門性の修了後の進路での役立ち度、指導教員による指導の適切性の満足度が、低い研究科においては、この原因がどこにあるのかを把握していただき、改善を行って戴ければと思います。

2) 大学院教育においてプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力が身についたかの問いでは、全体で90%近くの学生がそう思うと回答しているので、満足度は高いと思われます。しかしながら、昨年度と比較して満足度が高い研究科と低い研究科の傾向は

あまり変化がないようです。研究科単位で、どこに原因があるのかを把握し、改善を行って戴ければと思います。

3) 大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合いでは、昨年同様の傾向が見て取れます。グローバル化が叫ばれる昨今です。直接英語力を問わない学問領域もあるでしょうが、国際共通語として学生に身に付けさせる機会の提供をお願いいたします。

4) 大学院在学中に行った研究活動と教育活動に対する満足度では、双方とも80%を少し下回り、相関関係があります。満足度の低い研究科はどこに原因があるのかを把握し、改善を行って戴ければと思います。

5) 学生生活にかかる質問では、キャンパス間で満足度に違いが認められます。特に東千田キャンパスでは、施設・設備面での差異があること、そしてそのサービスも貧弱であるといわざるを得ません。全学の問題として検討する必要があります。

6) 「あなたが広島大学で受けた「大学院教育」(ガイダンス、教育内容・課程、学習相談、学習環境等)について改善すべき点があれば記述してください。」の自由記述から、気になった点をいくつかこの場で紹介します。

○ほんの一部ですが、ときどき授業準備を全くしてこない先生がいました。こちらは授業料を払っているわけですし、授業の質の管理を徹底していただきたいと思います。

また、論文を批判的に読む授業、質的研究法の授業がほとんどないように思われたので、知識よりも研究に必要なそれらの授業をもっと増やした方がいいのではないかと思います。

○英語で学会発表や論文執筆ができる能力の育成をすべき。教員の指導能力向上をすべき。

○所属する専修科では一体どういう人物像を目標に教育を行っているのかが分からなかった。1つ1つの授業につながりがなく、身に着いた力もバラバラである。

学部の授業からその傾向はあったが、大学院には期待をしていたため失望した。

少なくともその専修科で、目指す人物像・身につける能力などは明示して頂き、それに即した教育を展開してほしい。

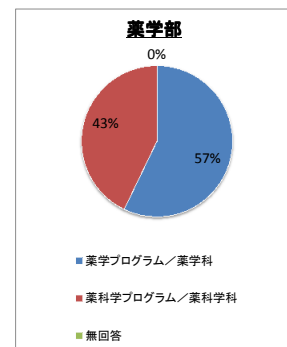
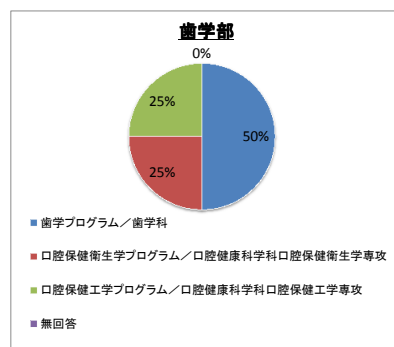
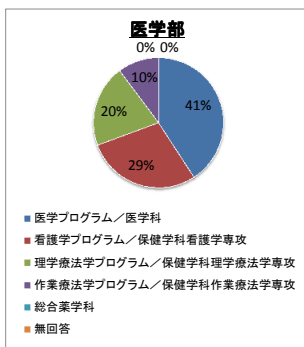
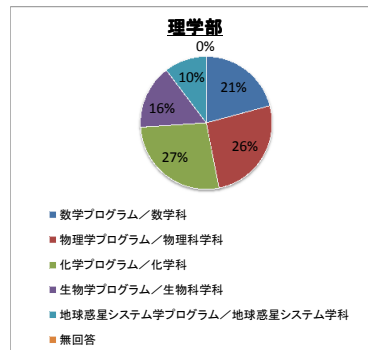
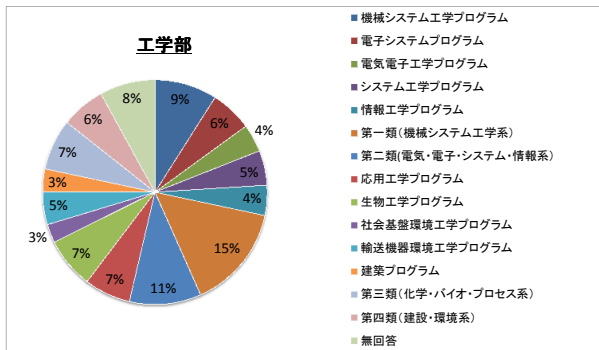
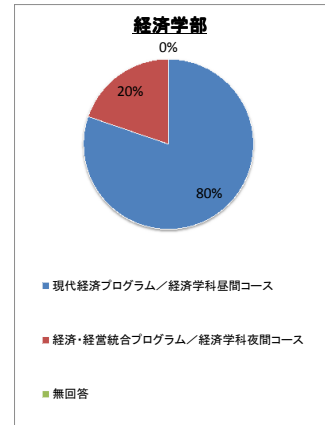
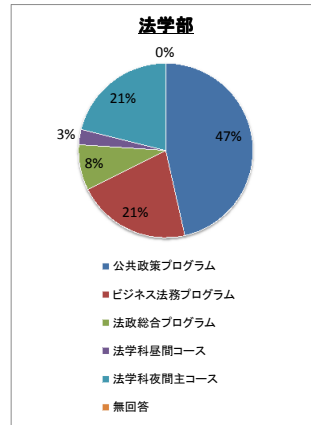
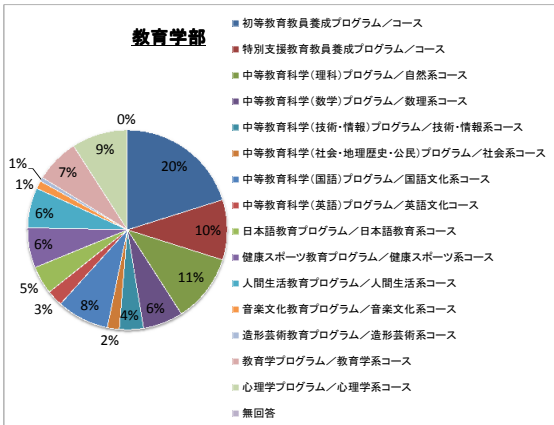
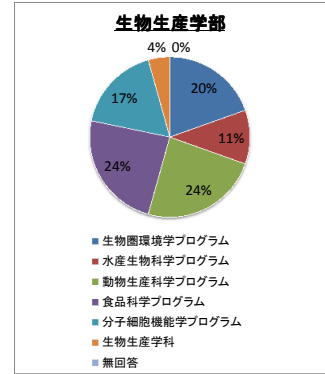
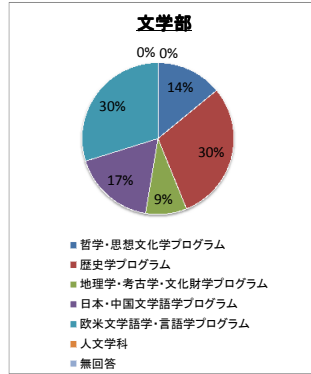
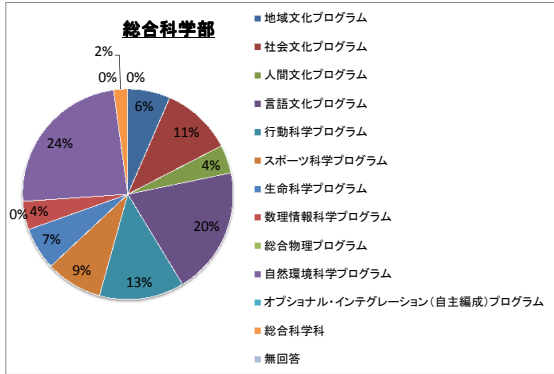
○コースワークの内容をもっと充実させること

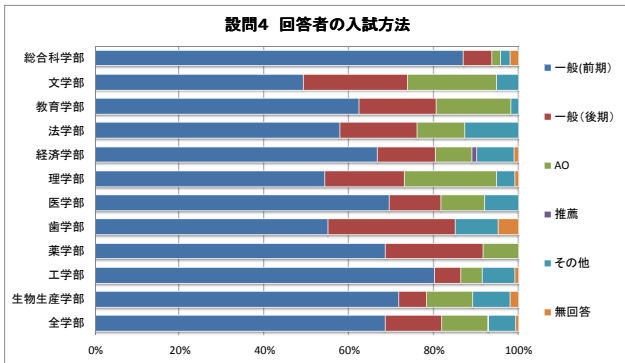
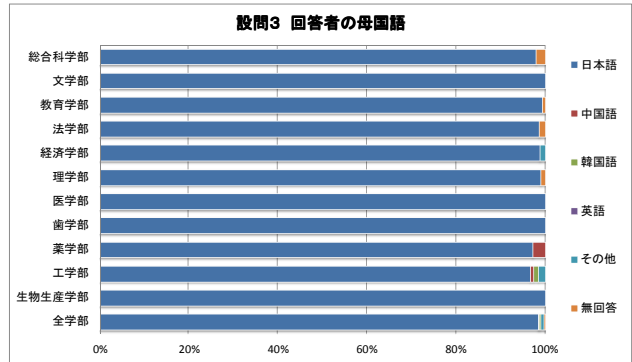
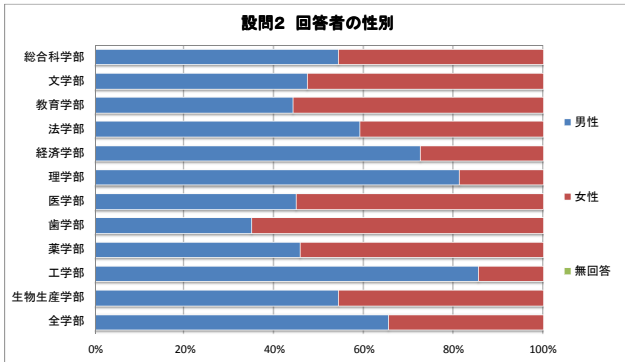
○学習相談、学習環境に関する相談をする相手がなくて苦勞した。特に前代の先輩がいなかったため一から研究室の秩序を構築したり、専門科目を体系立てて学習するまでに時間がかかり、集中して研究する時間があまり持てなかった。もっと専門的に相談できる人、相談に対して反応が必ず返ってくる人、アドバイスをいただける人が必要だった。研究機関という立場からだけではなく、人材育成という視点からもっと教育に力を入れていただきたかった。授業料を支払っている側としては不満を感じる点が多く不本意である。

1. 集計結果(学士課程)

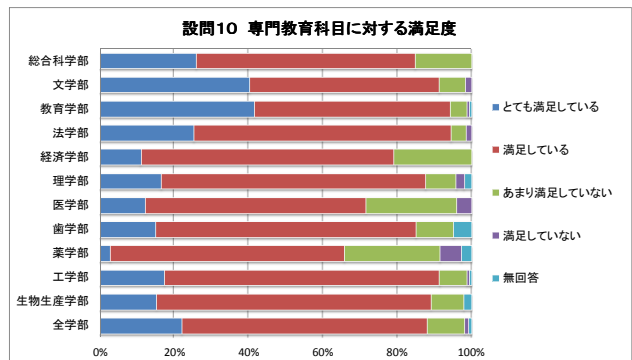
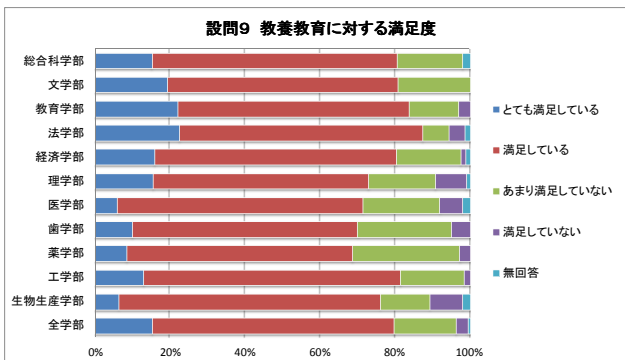
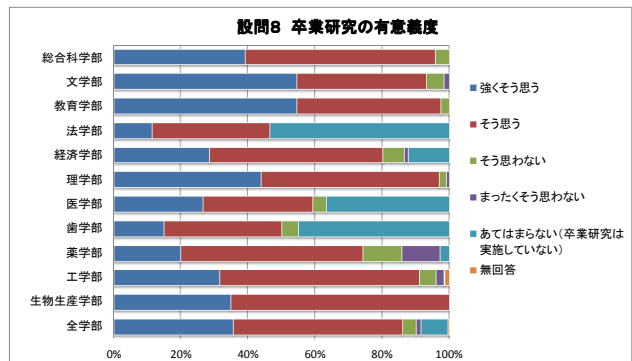
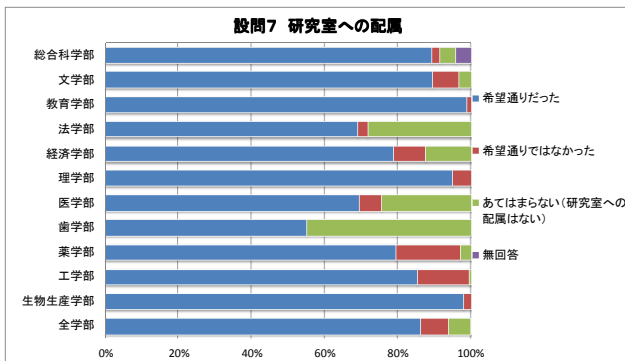
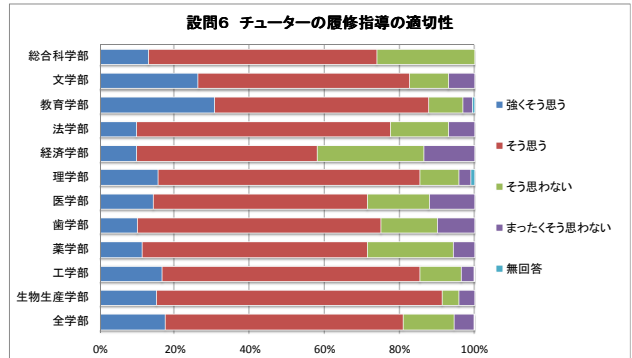
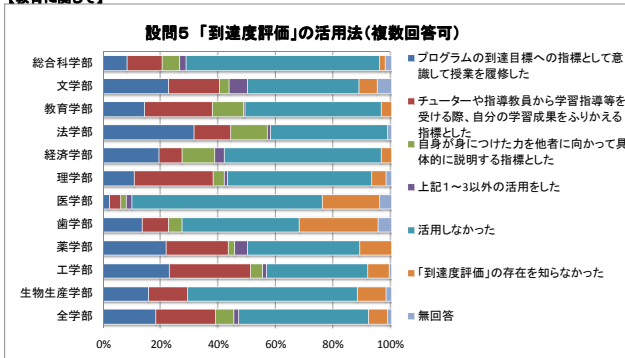
学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	133	46	34.59
文学部	169	57	33.73
教育学部	560	154	27.50
法学部	234	71	30.34
経済学部	269	81	30.11
理学部	230	96	41.74
医学部	246	49	19.92
歯学部	101	20	19.80
薬学部	60	35	58.33
工学部	542	300	55.35
生物生産学部	127	46	36.22
全学部合計	2,671	955	35.75

【回答者に関して】
設問1 回答者の所属プログラム等



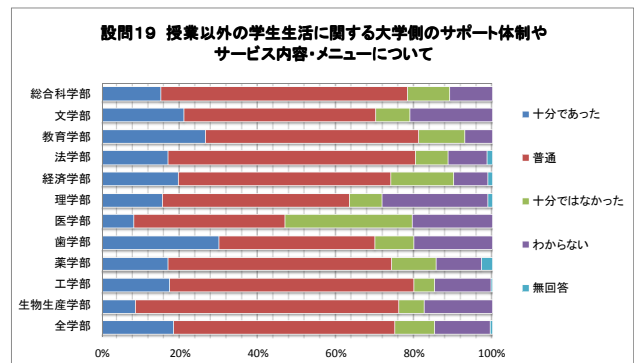
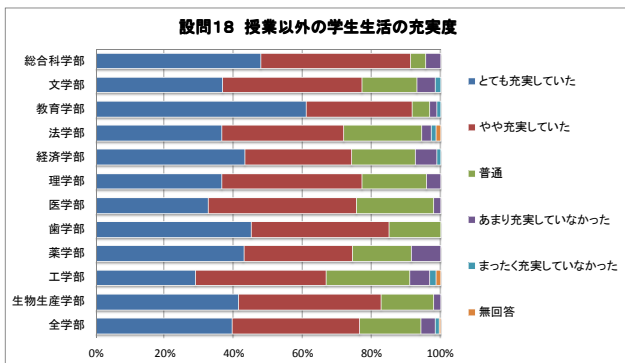
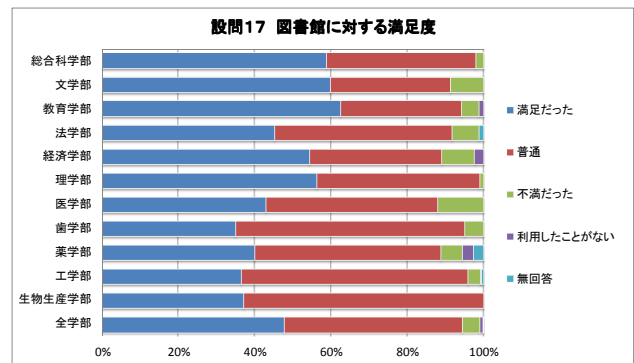
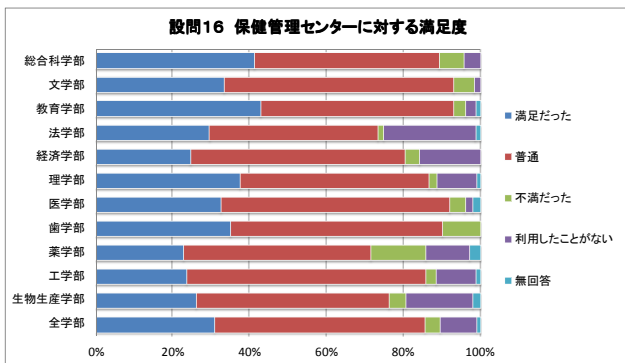
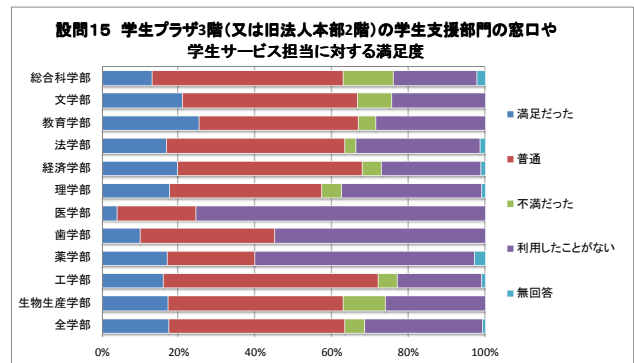
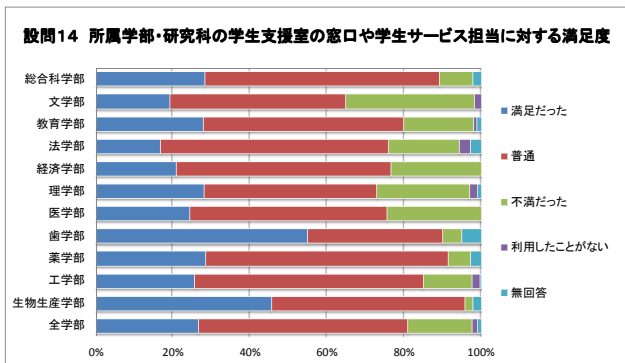
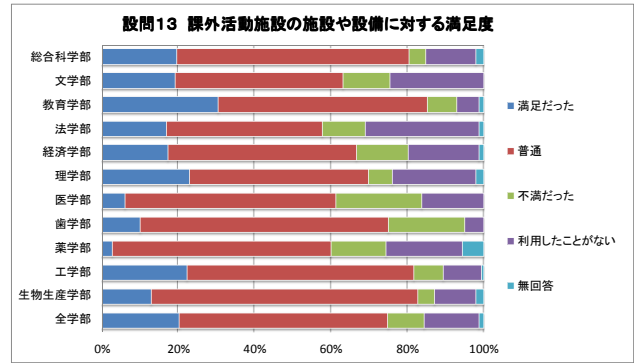
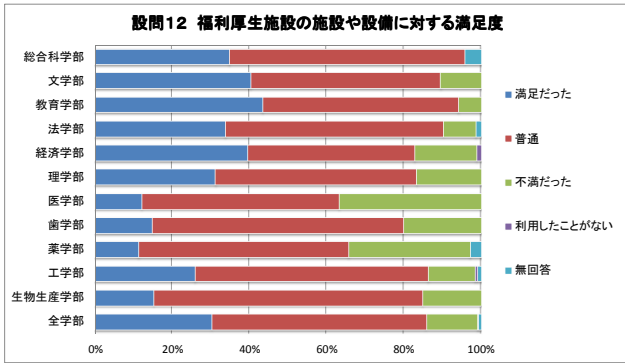


【教育に関して】



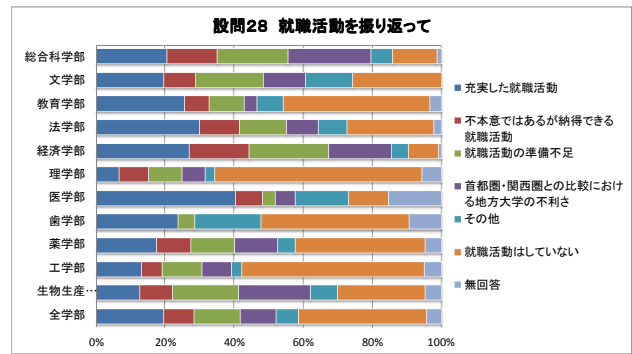
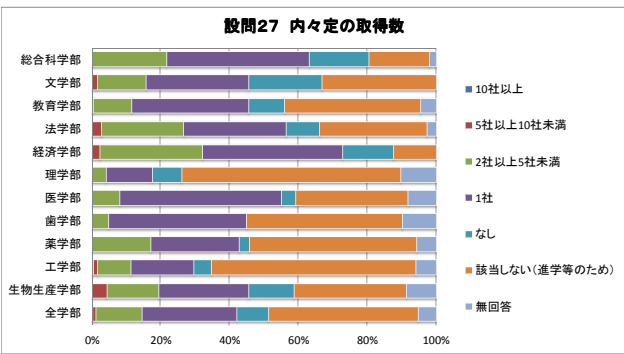
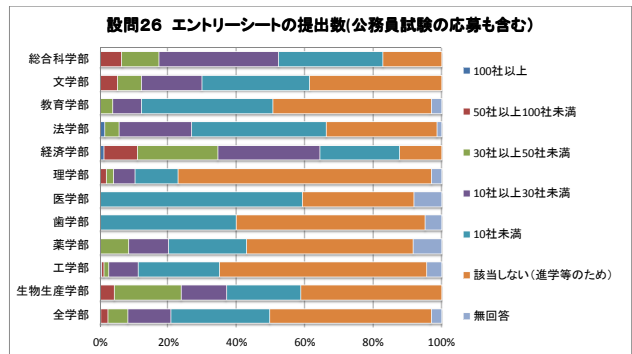
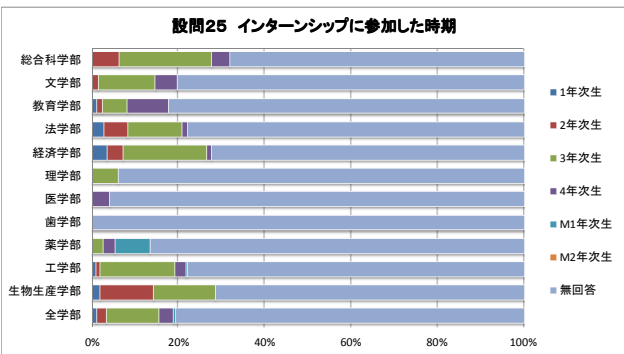
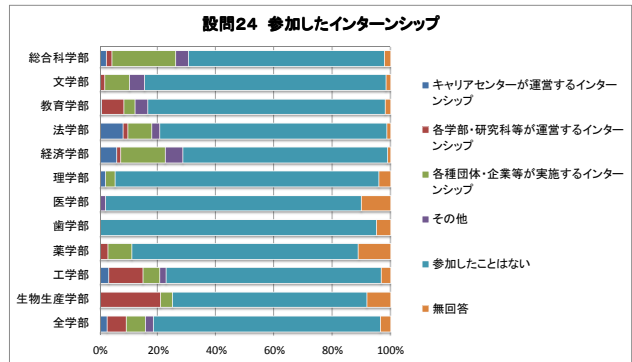
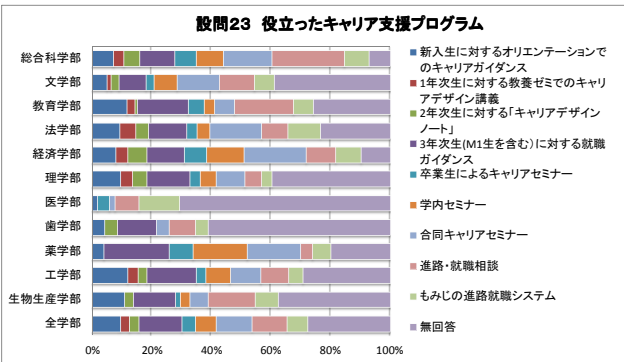
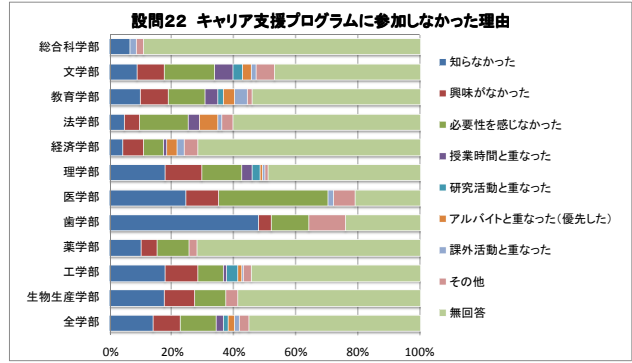
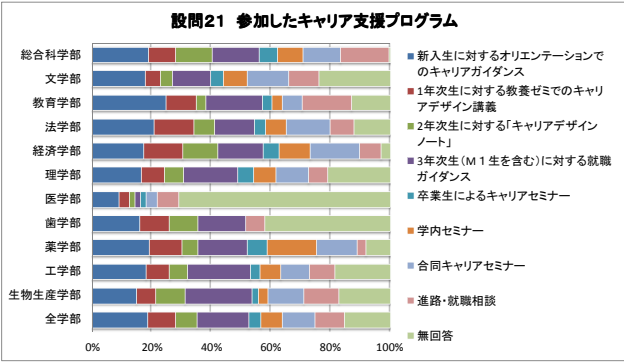
設問11 広島大学で受けた教育(ガイダンス, 学習相談, 学習環境等)に関する改善点
自由記述により省略

【学生生活に関して】



設問20 学生生活を振り返って、学生活動支援や施設等に対する意見や希望
自由記述により省略

【進路・職業選択及び就職活動に関して】



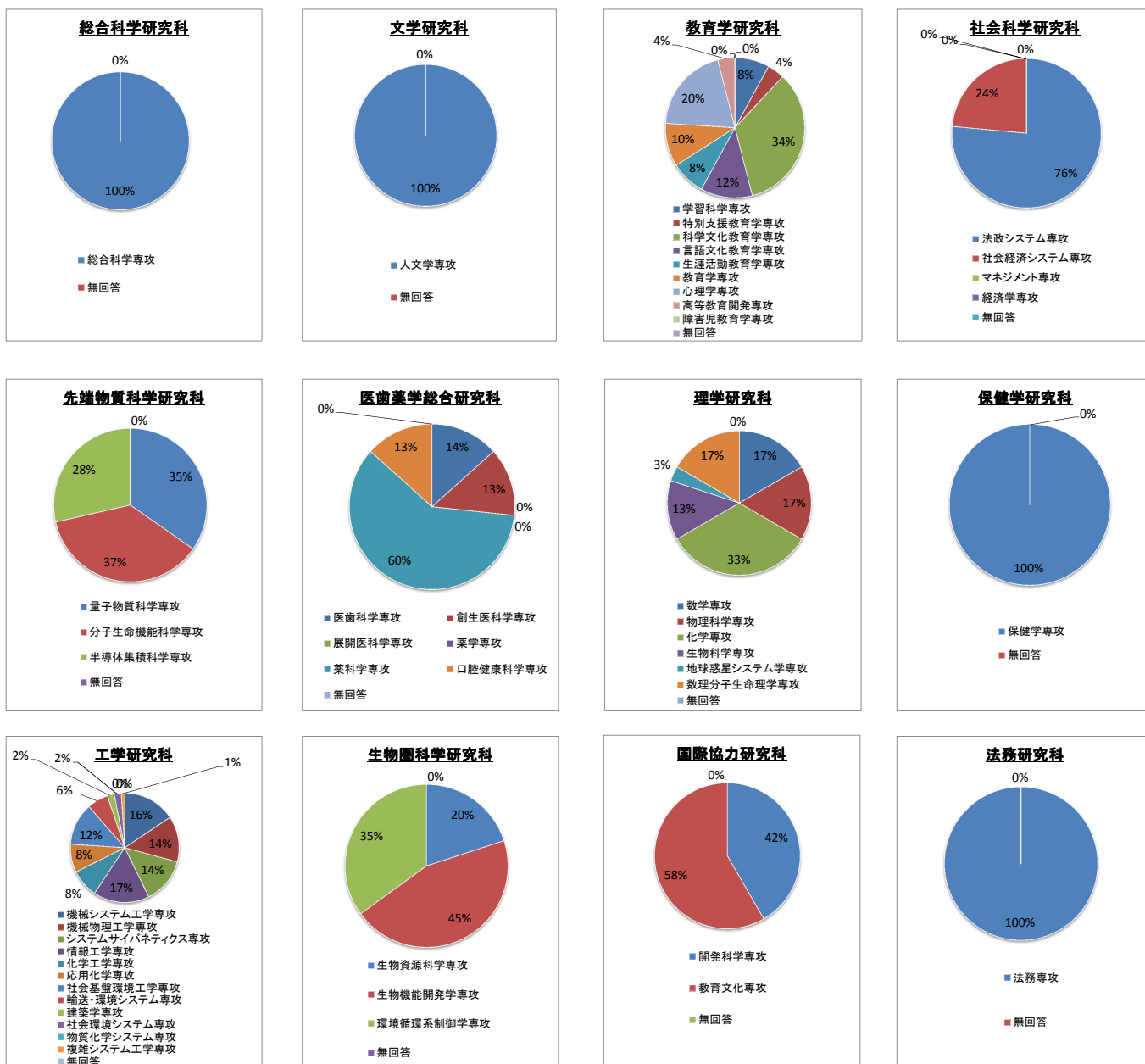
設問29 進路就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等について
自由記述により省略

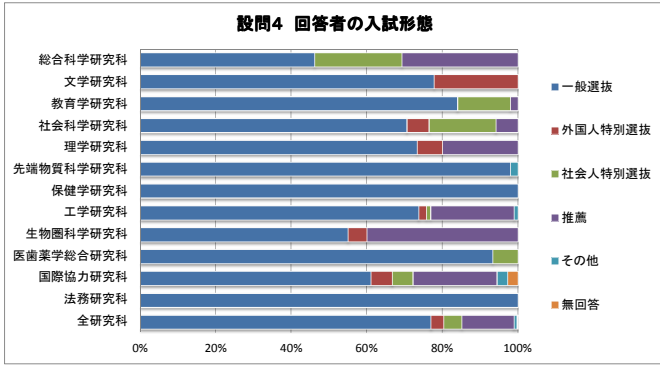
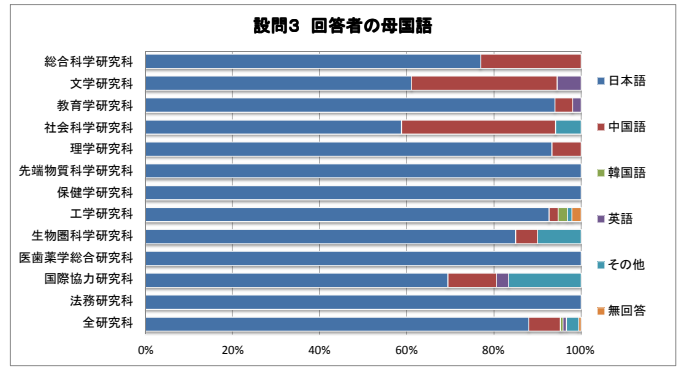
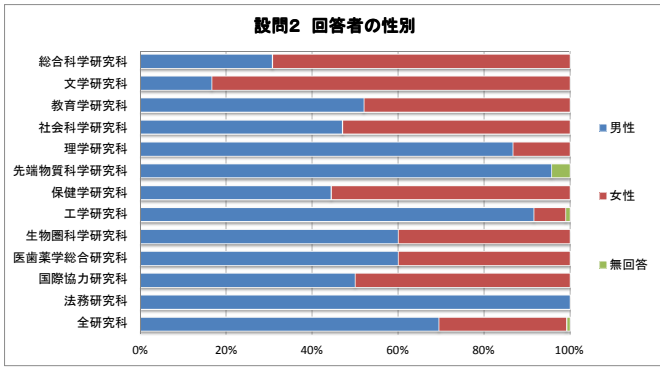
2. 集計結果(大学院 課程)

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	68	13	19.1
文学研究科	50	18	36.0
教育学研究科	193	50	25.9
社会科学研究科	64	17	26.6
理学研究科	147	30	20.4
先端物質科学研究科	103	49	47.6
医歯薬学総合研究科	66	15	22.7
保健学研究科	39	9	23.1
工学研究科	336	95	28.3
生物圏科学研究科	96	20	20.8
国際協力研究科	54	36	66.7
法務研究科	61	5	8.2
全研究科	1277	357	28.0

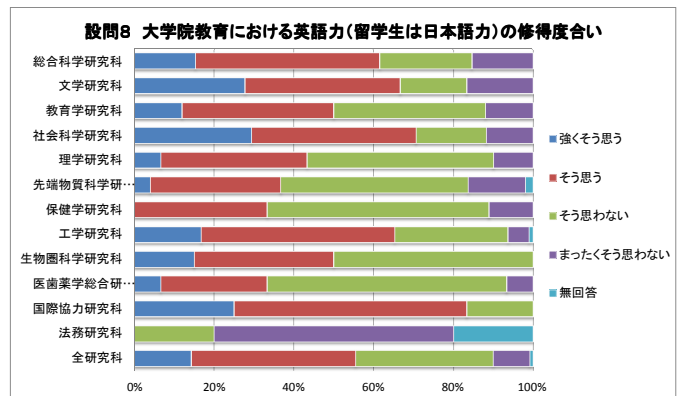
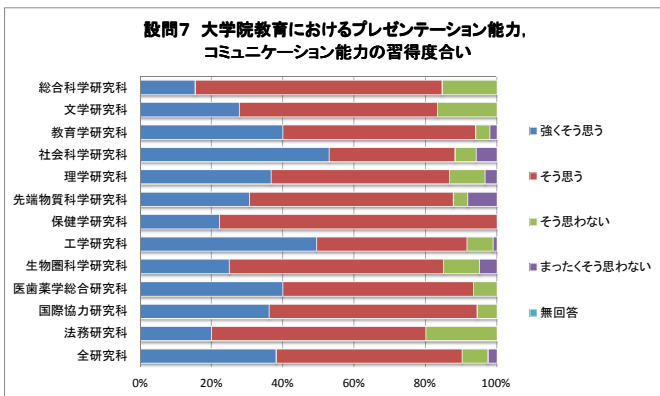
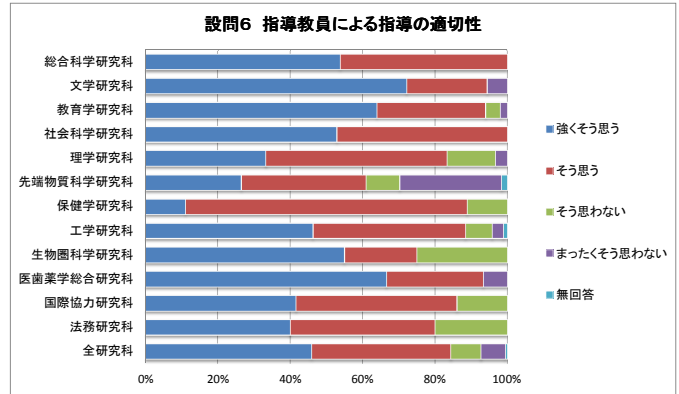
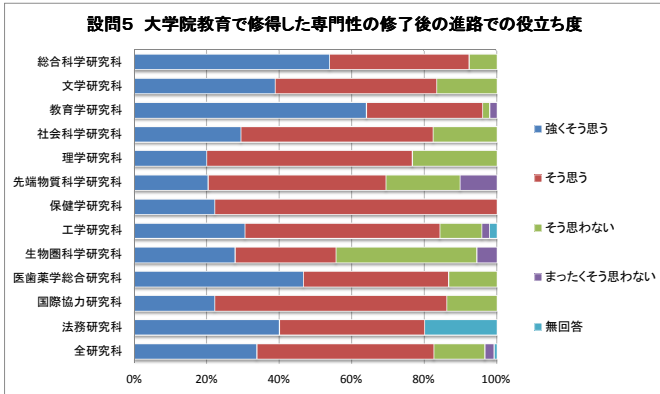
【回答に関して】

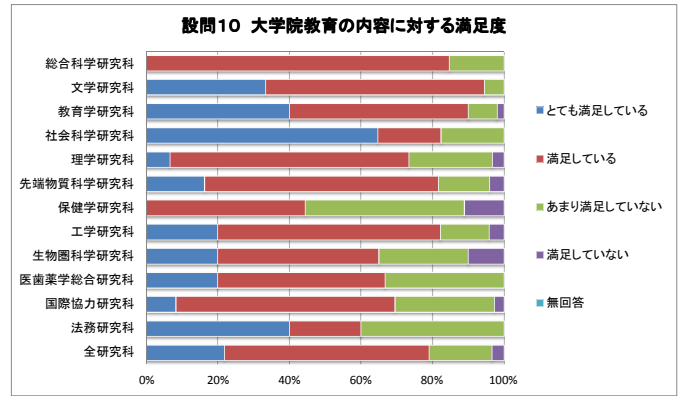
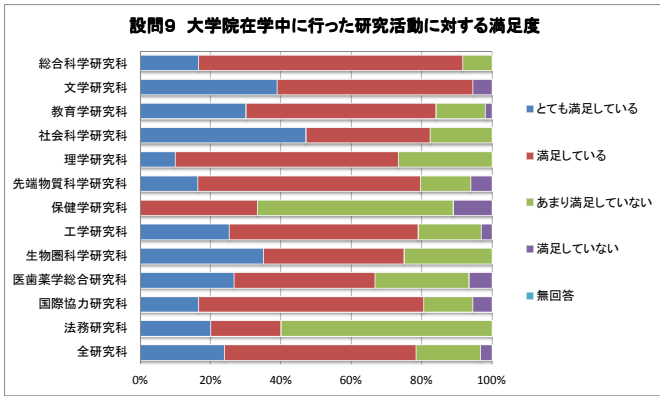
設問1 回答者の所属専攻



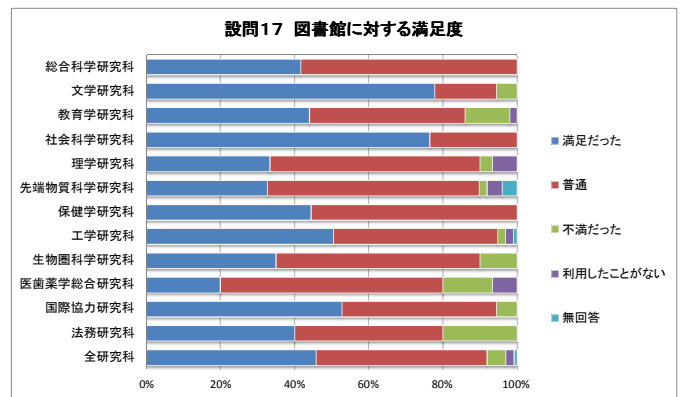
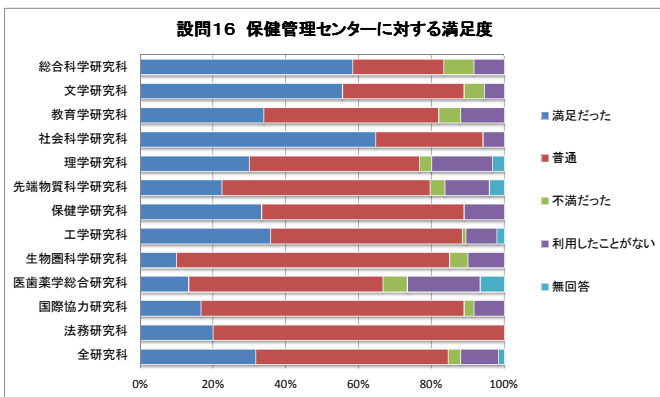
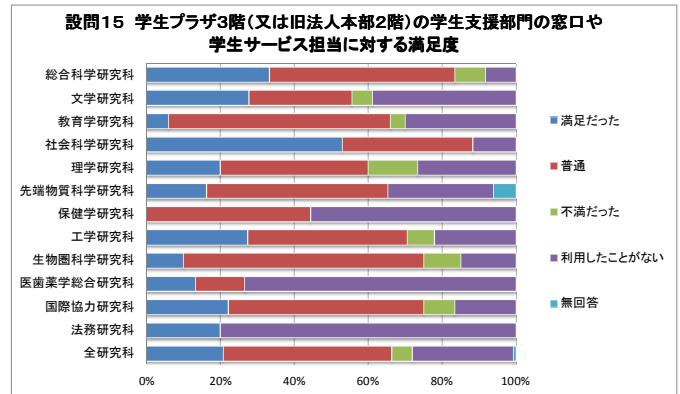
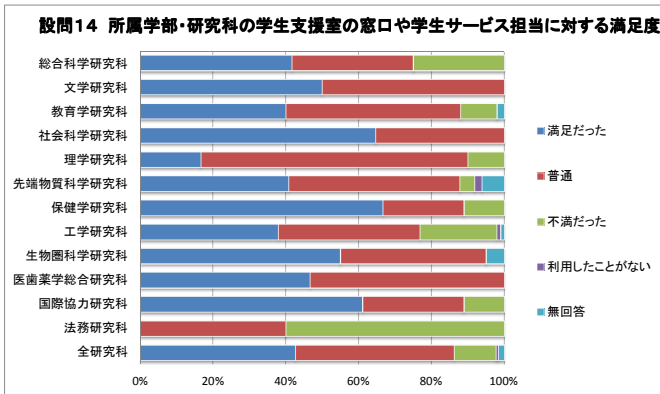
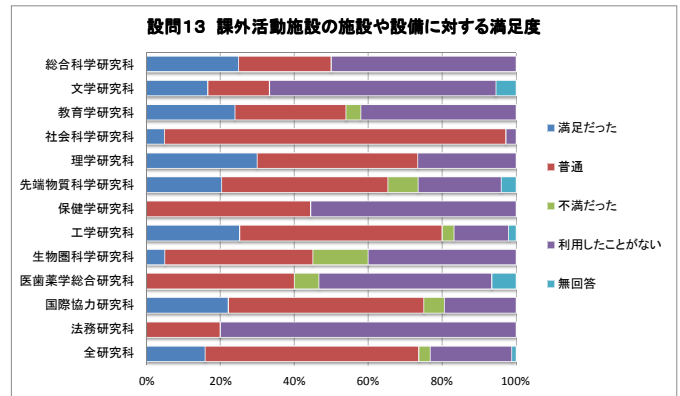
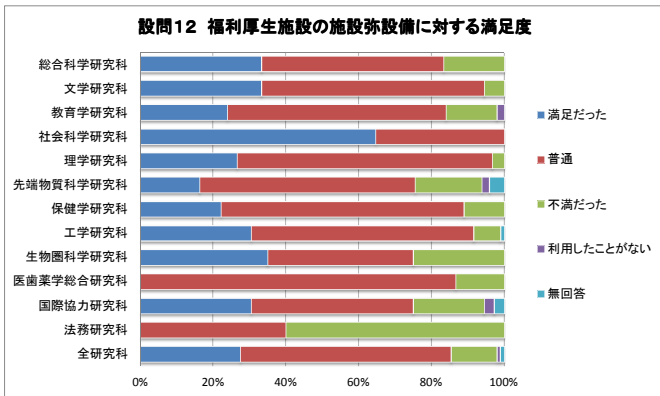


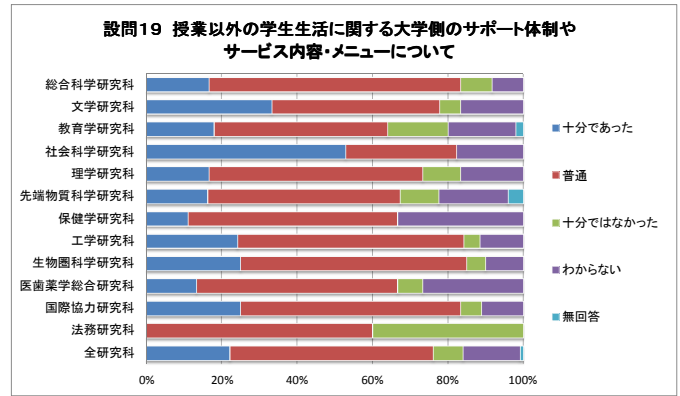
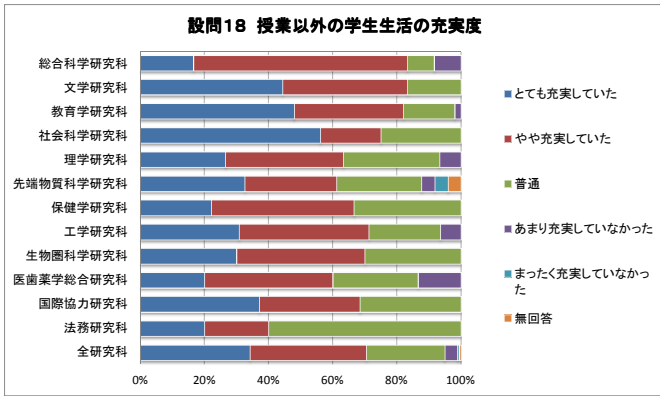
【教育に関して】





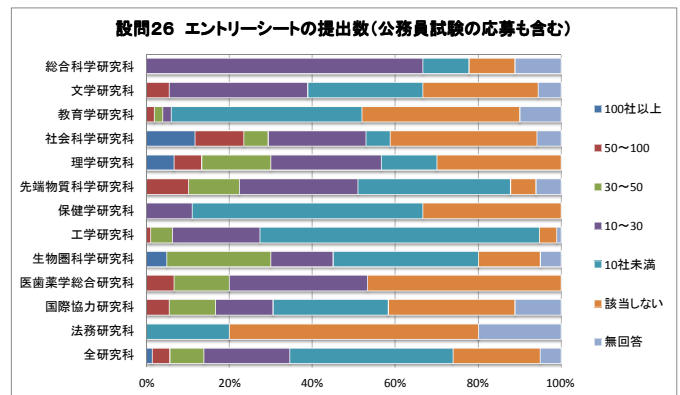
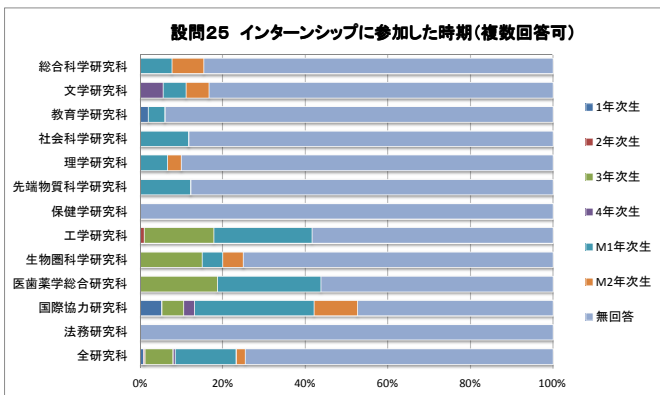
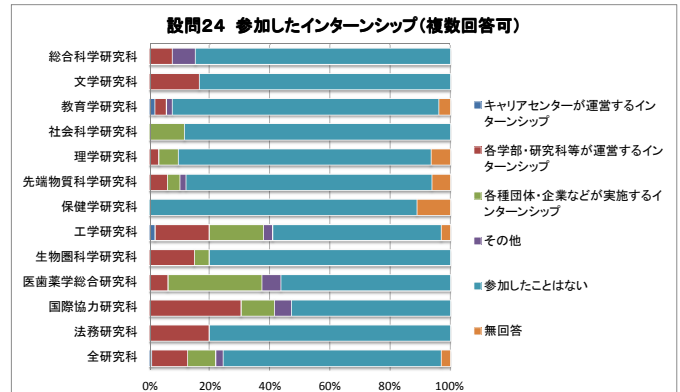
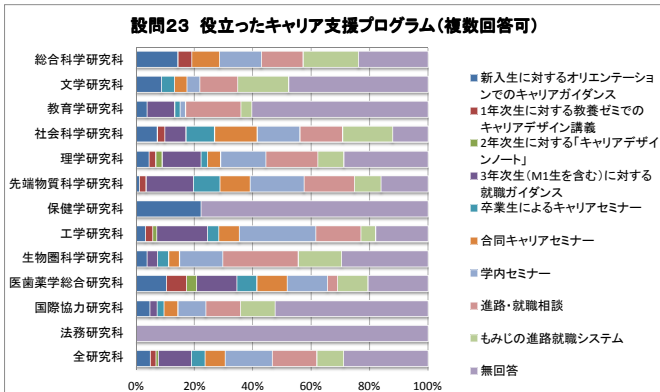
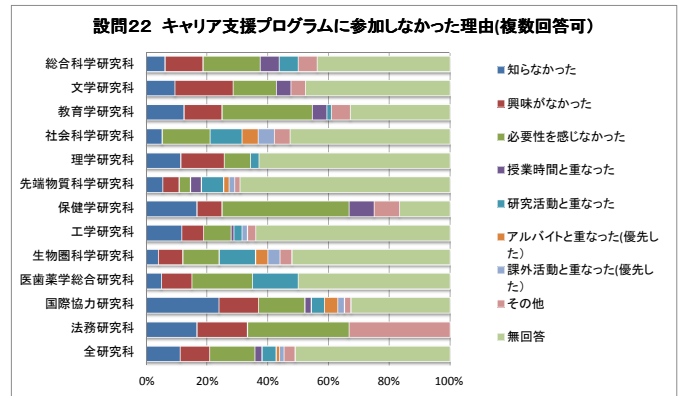
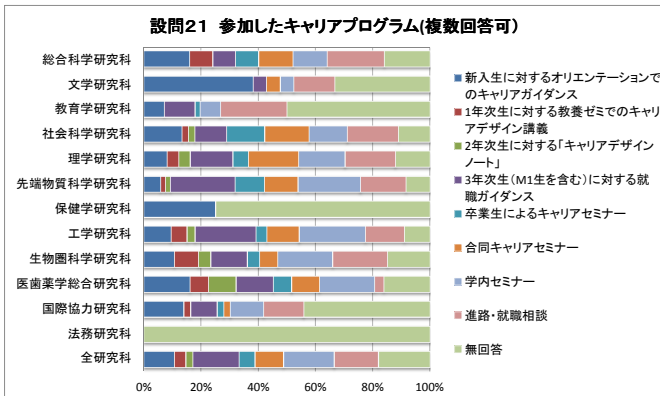
設問11 広島大学で受けた教育(ガイダンス, 学習相談, 学習環境等)に関する改善点
自由記述により省略
【学生生活に関して】

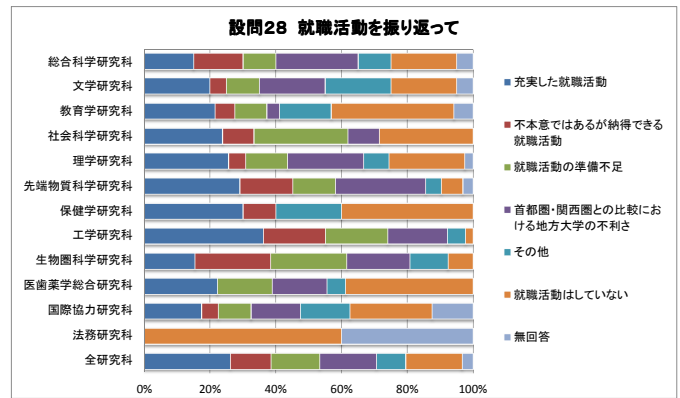
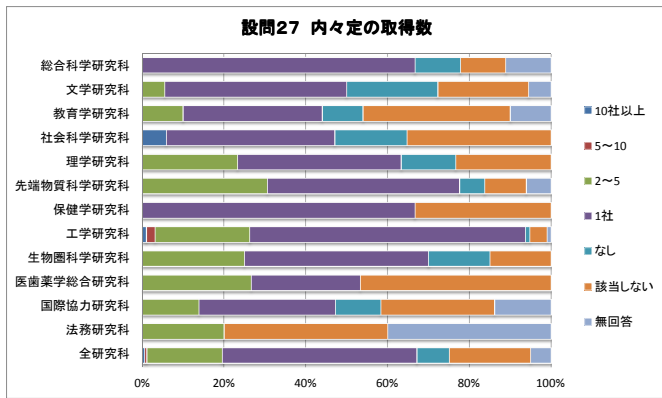




設問20 学生生活を振り返って、学生活動支援や施設等に対する意見や希望 自由記述により省略

【進路・職業選択及び就職活動に関して】





設問29 進路就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等について
自由記述により省略

3. 平成22年度との比較(学士課程)

【回答率に関して】

平成22年度

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	146	81	55.5
文学部	155	57	36.8
教育学部	560	275	49.1
法学部	222	82	36.9
経済学部	255	78	30.6
理学部	257	113	44.0
医学部	262	93	35.5
歯学部	103	34	33.0
薬学部	23	15	65.2
工学部	566	403	71.2
生物生産学部	110	56	50.9
全学部合計	2,659	1,287	48.4

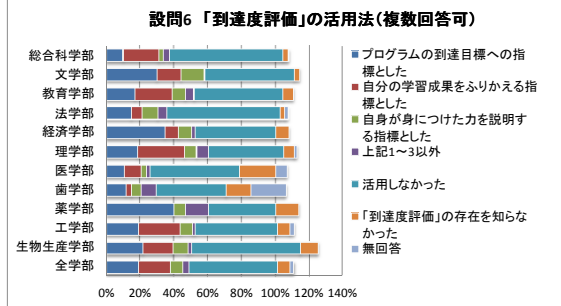
平成23年度

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	133	46	34.59
文学部	169	57	33.73
教育学部	560	154	27.50
法学部	234	71	30.34
経済学部	269	81	30.11
理学部	230	96	41.74
医学部	246	49	19.92
歯学部	101	20	19.80
薬学部	60	35	58.33
工学部	542	300	55.35
生物生産学部	127	46	36.22
全学部合計	2,671	955	35.75

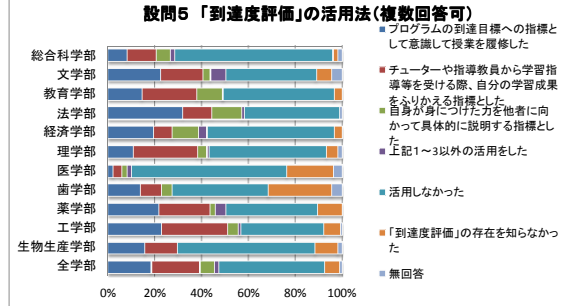
【教育に関して】

○教育プログラムの「到達度評価」の活用

平成22年度

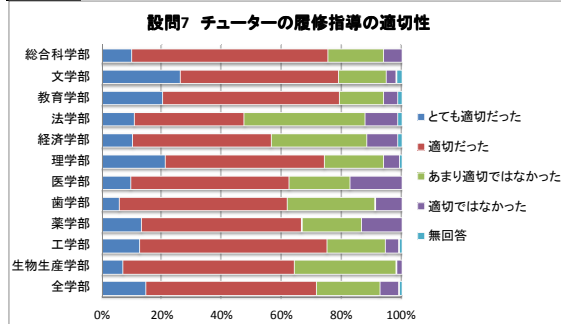


平成23年度

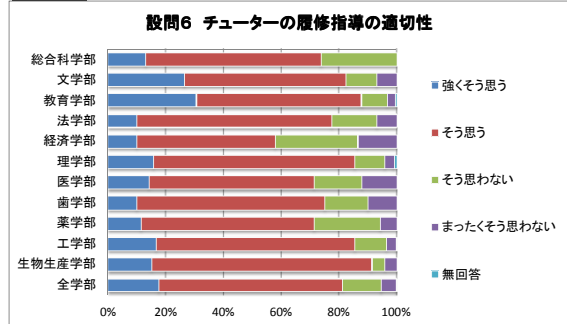


○チューターによる履修指導の適切性

平成22年度

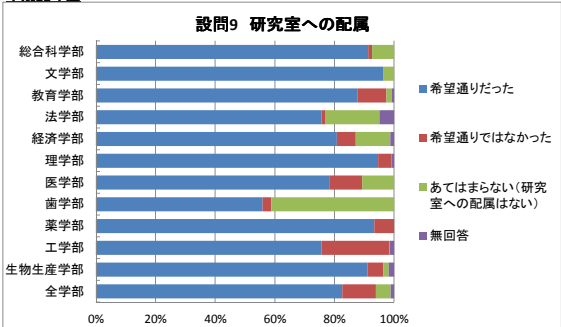


平成23年度

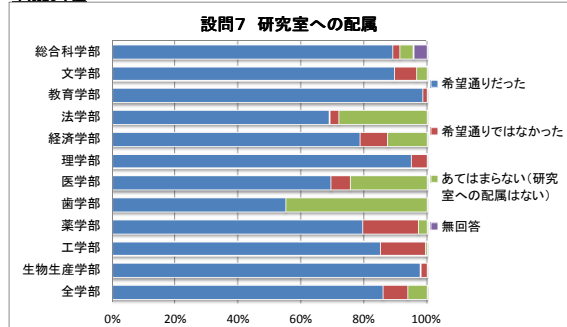


○研究室への配属

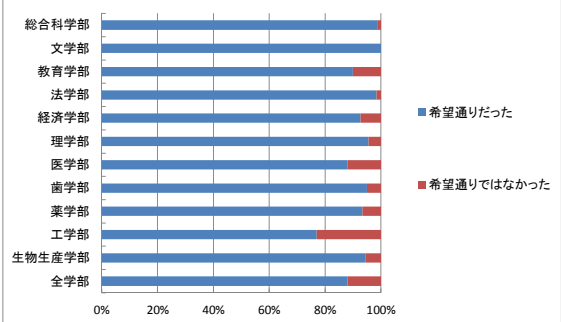
平成22年度



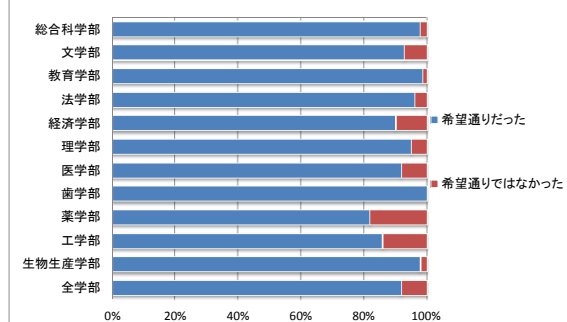
平成23年度



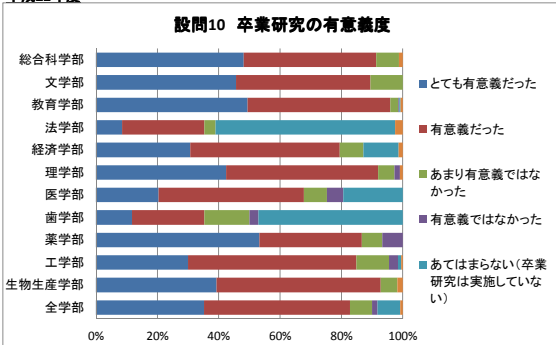
↓「研究室への配属がない」を除いた結果(平成22年度)



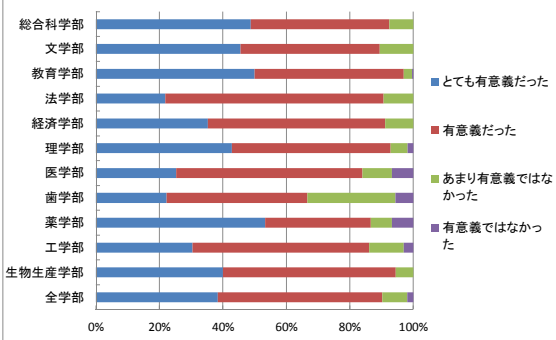
↓「研究室への配属がない」を除いた結果(平成23年度)



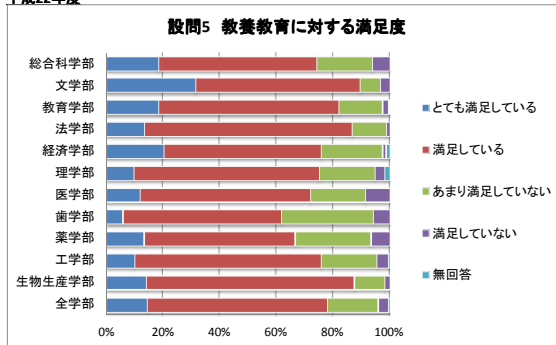
○卒業研究に対する満足度
平成22年度



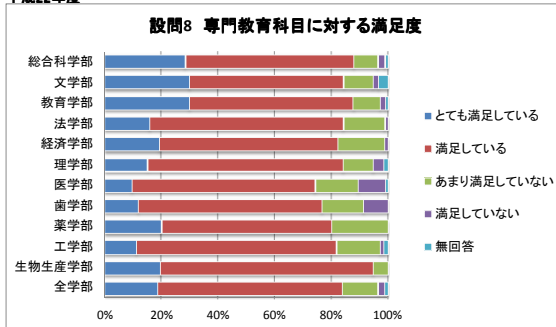
↓「卒業研究は実施していない」を除いた結果(平成22年度)



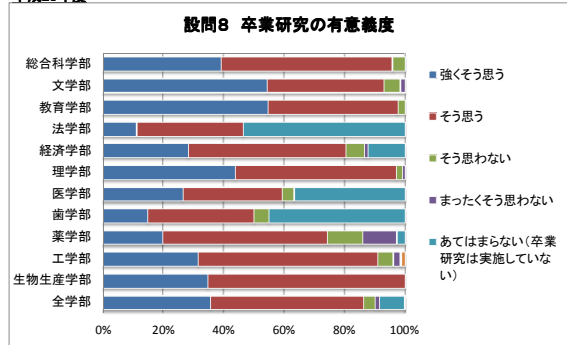
○教養教育に対する満足度
平成22年度



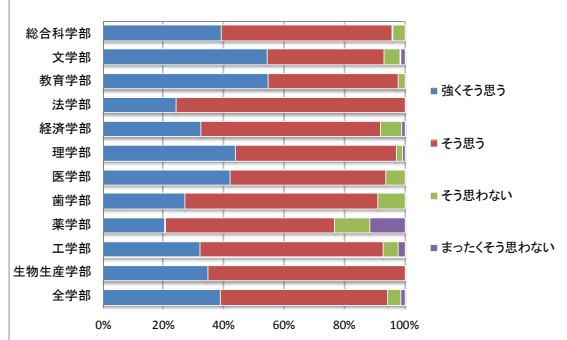
○専門教育に対する満足度
平成22年度



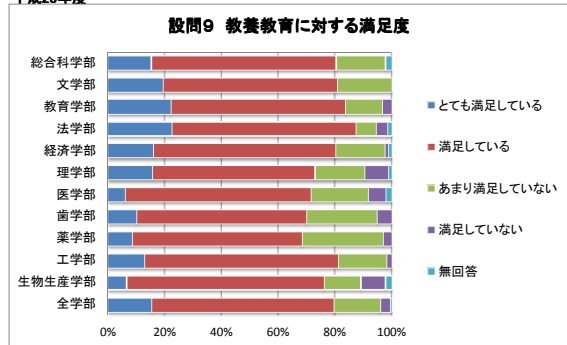
平成23年度



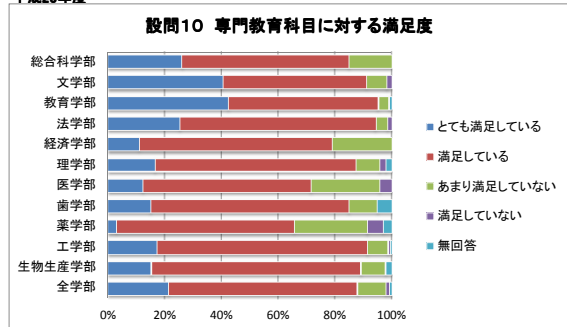
↓「卒業研究は実施していない」を除いた結果(平成23年度)



平成23年度

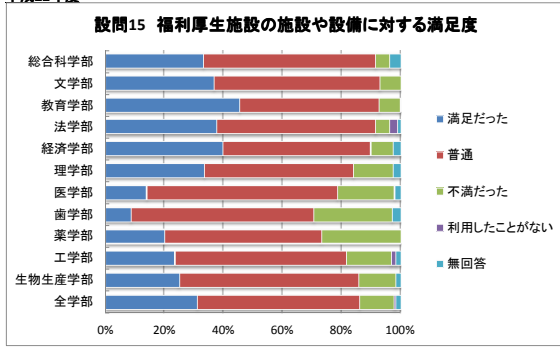


平成23年度

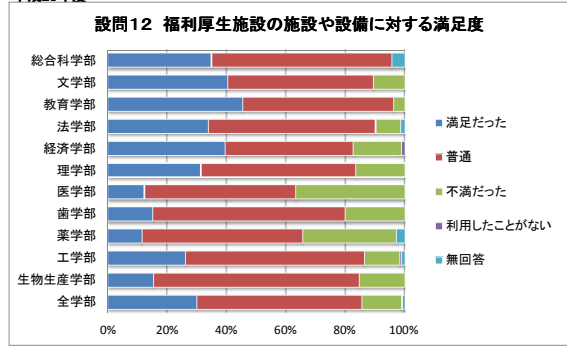


【学生生活に関して】

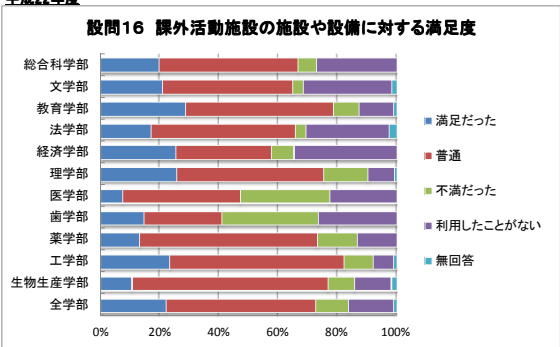
○福利厚生施設の施設や設備に対する満足度
平成22年度



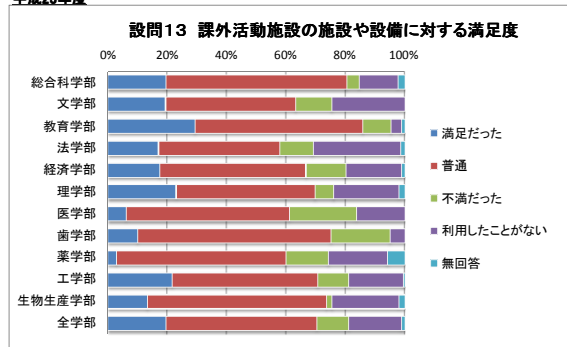
平成23年度



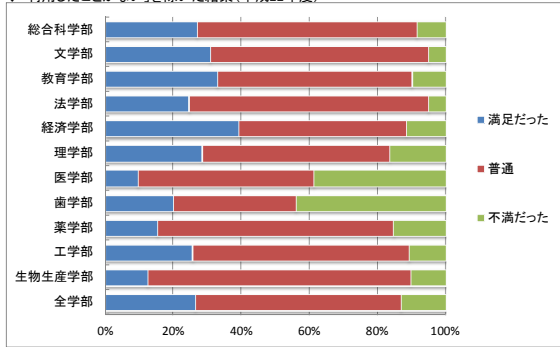
○課外活動施設の施設や設備に対する満足度
平成22年度



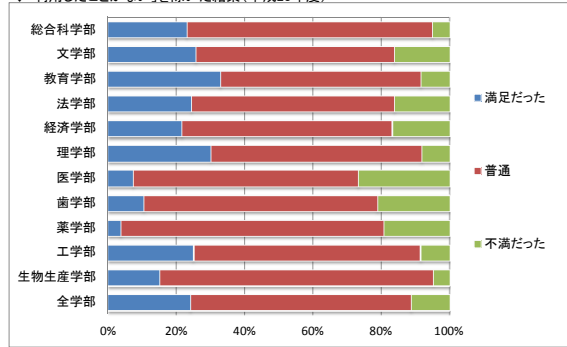
平成23年度



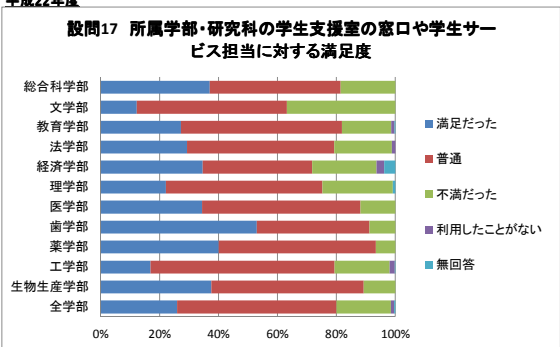
↓「利用したことがない」を除いた結果(平成22年度)



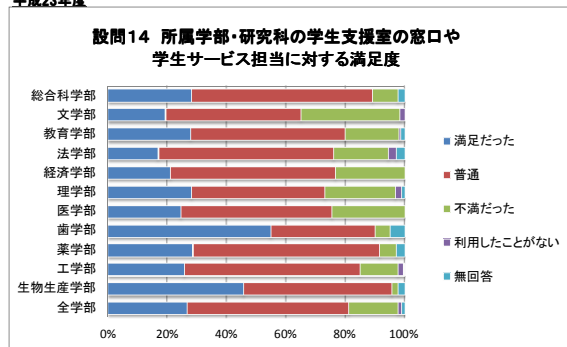
↓「利用したことがない」を除いた結果(平成23年度)



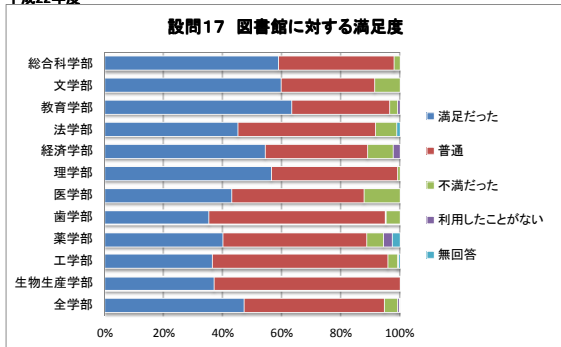
○所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足度
平成22年度



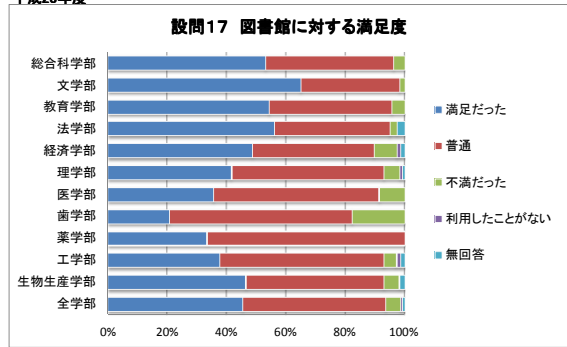
平成23年度



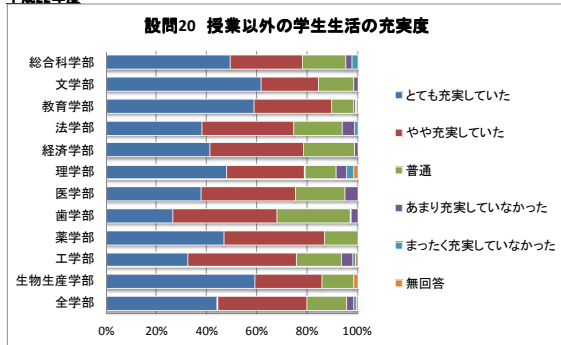
○図書館に対する満足度
平成22年度



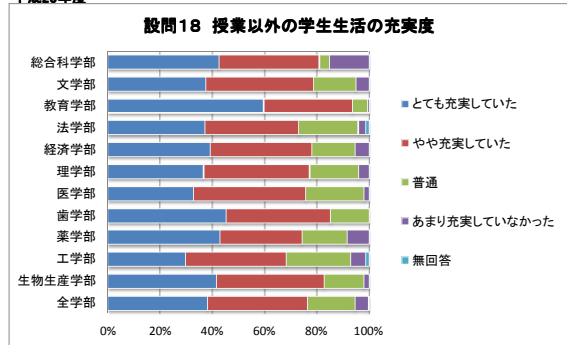
平成23年度



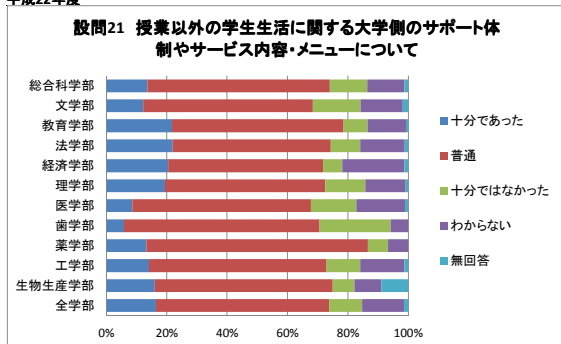
○授業以外の学生生活の充実度
平成22年度



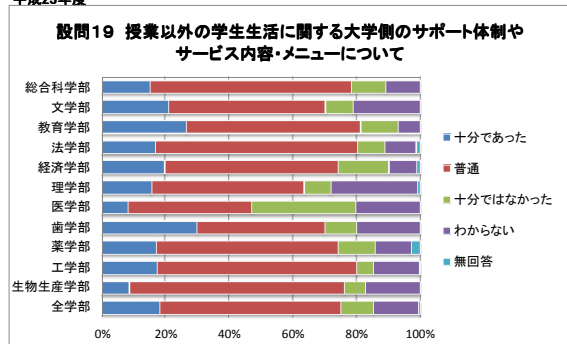
平成23年度



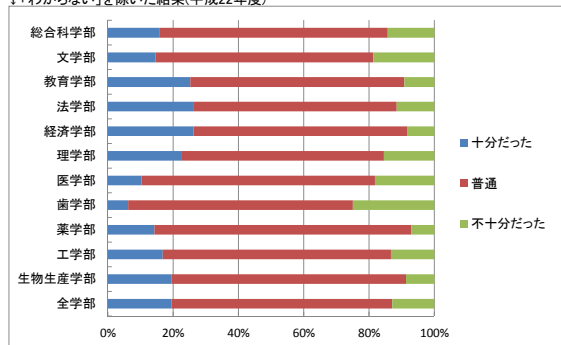
○授業以外の学生生活に関する大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて
平成22年度



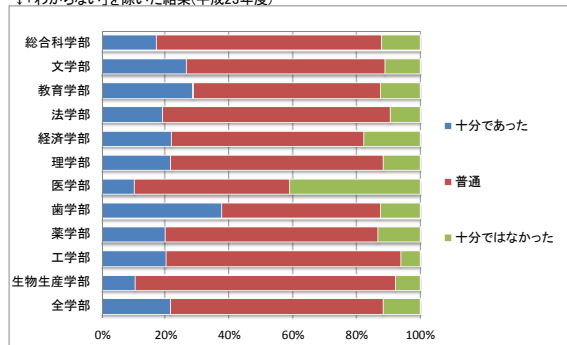
平成23年度



↓「わからない」を除いた結果(平成22年度)



↓「わからない」を除いた結果(平成23年度)



4. 平成22年度との比較(大学院課程)

【回答率に関して】

平成22年度

研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	51	24	47.1
文学研究科	68	28	41.2
教育学研究科	186	78	41.9
社会科学研究科	71	17	23.9
理学研究科	150	54	36.0
先端物質科学研究科	95	56	58.9
医歯薬学総合研究科	89	28	31.5
保健学研究科	39	13	33.3
工学研究科	316	170	53.8
生物圏科学研究科	79	35	44.3
国際協力研究科	51	19	37.3
法務研究科	54	12	22.2
全研究科合計	1,249	534	42.8

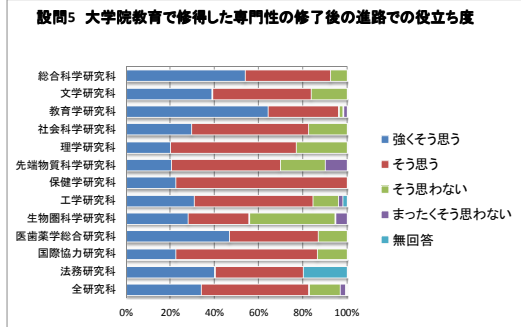
平成23年度

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	68	13	19.1
文学研究科	50	18	36.0
教育学研究科	193	50	25.9
社会科学研究科	64	17	26.6
理学研究科	147	30	20.4
先端物質科学研究科	103	49	47.6
医歯薬学総合研究科	66	15	22.7
保健学研究科	39	9	23.1
工学研究科	336	95	28.3
生物圏科学研究科	96	20	20.8
国際協力研究科	54	36	66.7
法務研究科	61	5	8.2
全研究科合計	1,277	357	28.0

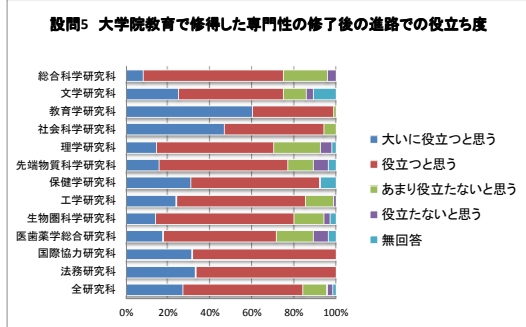
【教育に関して】

○大学院教育で修得した専門性の修了後の進路での役立ち度

平成22年度

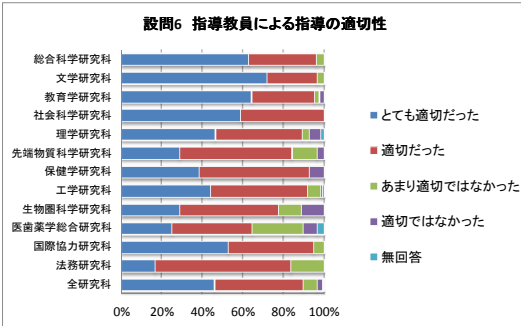


平成23年度

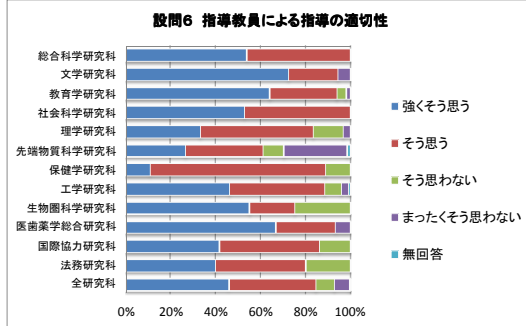


○指導教員による指導の適切性

平成22年度

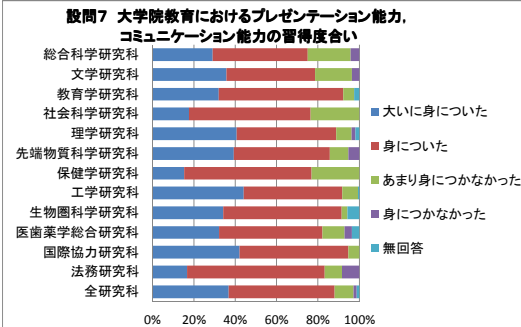


平成23年度

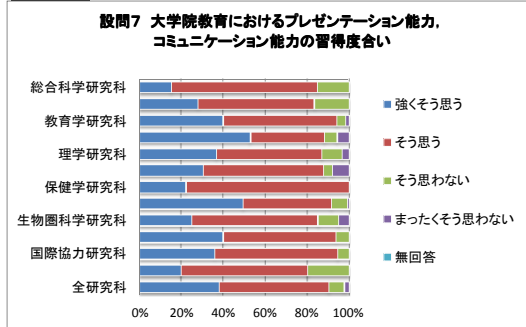


○大学院教育におけるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の習得度合い

平成22年度

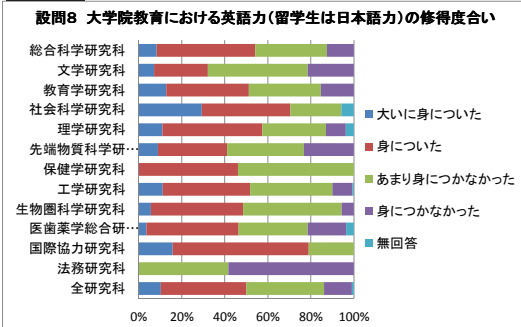


平成23年度

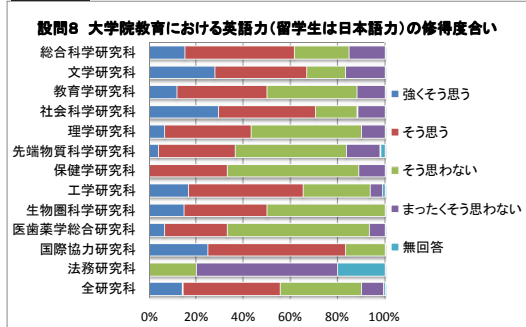


○大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合い

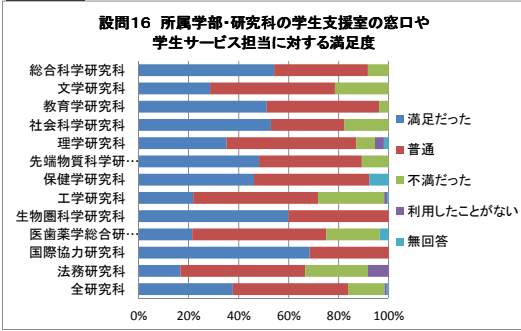
平成22年度



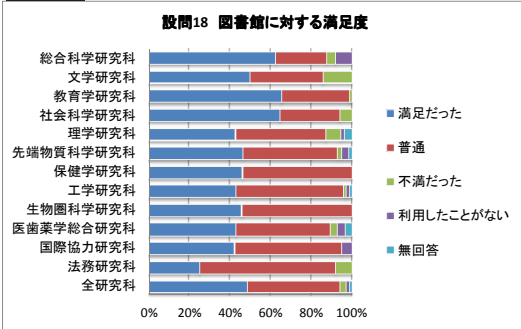
平成23年度



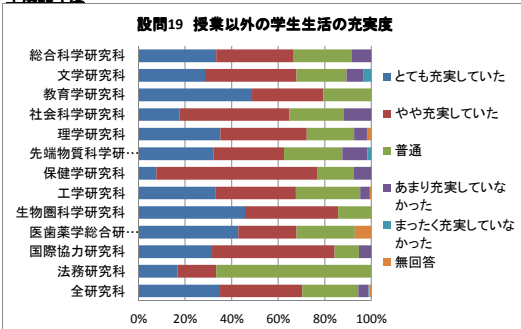
○所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足度
平成22年度



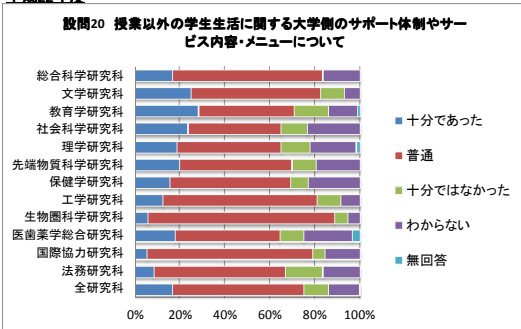
○図書館に対する満足度
平成22年度



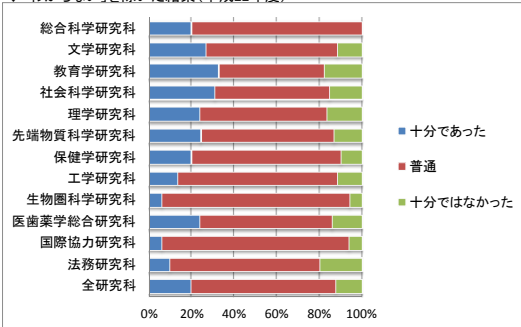
○授業以外の学生生活の充実度
平成22年度



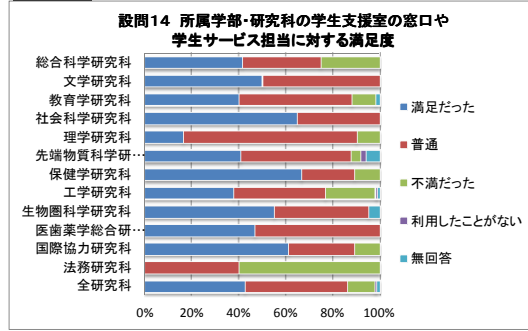
○授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて
平成22年度



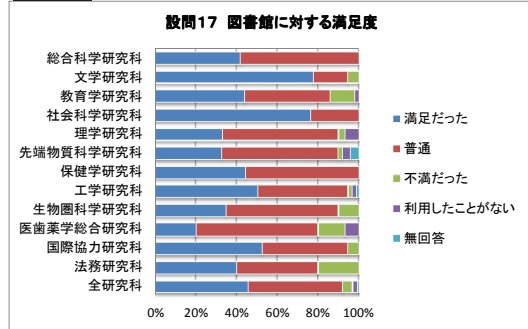
↑「わからない」を除いた結果(平成22年度)



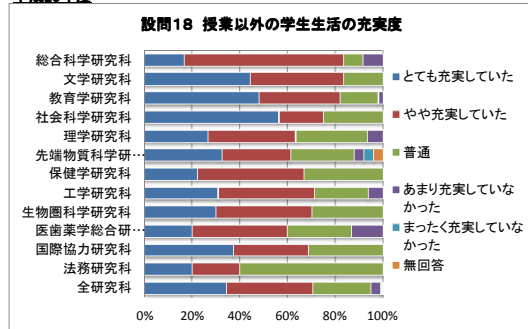
平成23年度



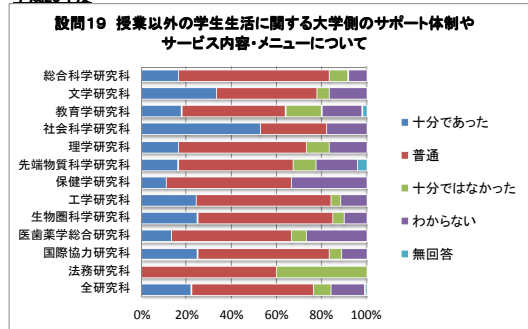
平成23年度



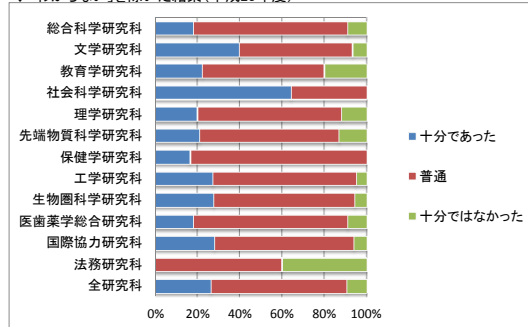
平成23年度



平成23年度



↑「わからない」を除いた結果(平成23年度)



平成23年度「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」実施要綱

1. 実施目的

本学は、平成18年度から学士課程教育にHiPROSPECTS®を導入しているが、昨年度の調査において「到達度評価を活用しなかった」と回答した学生が半数を超える結果となった。認知度の低さを改めて実感した今年度は、認知度を上げるための様々な取り組みを行ってきた。同様に、大学院においては、講座化した大学院課程教育の継続的な見直しに活用している。このように、本調査結果は大学の取り組みにおける成果などの把握・分析に役立っている。調査2年目となる今年度は、昨年度の調査結果との比較によりさらなる分析が期待でき、より多くの分野・部署における重要な基礎的資料となると考える。そのためには、少しでも多くの対象者の意見を集約することが重要となる。

この調査は、教育及び学生支援を実際に受けた学生からの意見を集約するために、卒業又は修了を間近に控える学生を対象として実施するものである。教育及び学生支援についての学生の意見を総合的に集約・分析することにより、各教育組織と各学生支援担当教職員の認識を高め、教育及び学生支援の充実・改善に資することを目的とするものである。

2. 調査の実施主体

教育室教育企画グループが実施する。

3. 調査の実施方法

「学生情報の森 もみじ」のアンケート機能を使用して実施する。

4. 調査の実施対象

- (1) 学士課程教育
- (2) 大学院課程教育
- (3) 学生生活
- (4) 就職活動

以上の4つの領域に関する総合的な内容とする。

5. 調査の実施時期

学生のアンケート回答期間は、平成24年2月1日（水）～平成24年3月23日（金）とする。

6. 調査項目

調査項目は、各所掌の部署（学生生活会議／学生生活支援グループ、キャリアセンター会議／キャリア支援グループ、教養教育委員会／教養教育支援グループ、学士課程会議、大学院課程会議／教育企画グループ、入学センター会議／入試グループ）が提案し、教育企画グループが調整し、策定したものを基本とする。

7. 調査の対象学生

平成23年度卒業及び修了見込みの学生を対象とする。

8. 調査結果の集計・公表等

- (1) 集計結果は各所掌の部署へフィードバックし、今後の教育及び学生支援に向けた改善を促す。
- (2) 調査結果は、広島大学のHPにおいて大学内外に向けて公表を行う。

9. その他

- (1) 調査は、「1. 実施目的」に記載した目的以外には利用しない。
- (2) 「学生情報の森 もみじ」から調査対象の学生に向けて、調査に回答するようアナウンスを行う。
- (3) この要綱に定めるもののほか、調査実施について必要な事項は、教育室が別に定める。

平成 23 年度 卒業・修了予定者によるフィードバック調査

学部生用 (設問数 29)	大学院生用 (設問数 29)
<p>① 履修した主専攻プログラム名を選択してください。 平成 17 年度以前の入学生は、学科名もしくはコース名を選択してください。 ※回答選択肢は別紙を参照のこと</p>	<p>① 履修した専攻を選択してください。 ※回答選択肢は別紙を参照のこと</p>
<p>② 性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性</p>	<p>② 性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性</p>
<p>③ あなたの母国語を選んでください。 1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国語 4. 英語 5. その他</p>	<p>③ あなたの母国語を選んでください。 1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国語 4. 英語 5. その他</p>
<p>④ あなたが入学した時の入試方法を選んでください。 1. 一般 (前期日程) 2. 一般 (後期日程) 3. AO 4. 推薦 5. その他</p>	<p>④ あなたが入学した時の入試方法を選んでください。 1. 一般選抜 2. 外国人特別選抜 3. 社会人特別選抜 4. 推薦 5. その他</p>
<p>---教育に関して---</p>	<p>---教育に関して---</p>
<p>⑤ 教育プログラムの「到達度評価」をどのように活用しましたか。 (平成 17 年度以前の入学生は回答不要です。)(複数選択可) 1. プログラムの到達目標への指標として意識して授業を履修した 2. チューターや指導教員からの学習指導等を受ける際、自分の学習成果をふりかえる指標とした 3. 自身が身につけた力を他者に向かって具体的に説明する指標とした 4. 上記 1~3 以外の活用をした 5. 活用しなかった 6. 「到達度評価」の存在を知らなかった</p>	<p>⑤ 大学院教育で身につけた専門性は、修了後の進路で役立つと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>
<p>⑥ チューターによる履修指導は適切に行われたと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>	<p>⑥ 指導教員による指導は適切に行われたと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>
<p>⑦ 研究室への配属は希望どおりでしたか。 1. 希望通りだった 2. 希望通りではなかった 3. あてはまらない (研究室への配属はない)</p>	<p>⑦ 大学院教育でプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力が身についたと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>
<p>⑧ 卒業研究は、あなたにとって有意義であったと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う</p>	<p>⑧ 大学院教育で英語力 (留学生は日本語力) が身についたと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>

<p>3. そう思わない 4. まったくそう思わない 5. あてはまらない (卒業研究は実施していない)</p> <p>⑨ 履修した教養教育の内容に満足しましたか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑩ 履修した専門教育科目の内容に満足しましたか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑪ あなたが広島大学で受けた「学士課程教育」(ガイダンス, 教育内容・課程, 学習相談, 学習環境等) について, 改善すべき点があれば記述してください。 自由記述「(全角 1,000 文字以内) 」</p>	<p>⑨ 大学院在学中に行った研究活動に満足していますか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑩ 修学した大学院教育の内容に満足しましたか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑪ あなたが広島大学で受けた「大学院教育」(ガイダンス, 教育内容・課程, 学習相談, 学習環境等) について改善すべき点があれば記述してください。 自由記述「(全角 1,000 文字以内) 」</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以下, 学部生・大学院生共通設問

<p>---学生生活に関して---</p> <p>⑫ 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備について, 満足度を教えてください。 1. 満足だった 2. 普通 3. 不満だった 4. 利用したことがない</p> <p>⑬ 課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備について, 満足度を教えてください。 1. 満足だった 2. 普通 3. 不満だった 4. 利用したことがない</p> <p>⑭ 所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当について, 満足度を教えてください。 1. 満足だった 2. 普通 3. 不満だった 4. 利用したことがない</p> <p>⑮ 学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の窓口や学生サービス担当について, 満足度を教えてください。 1. 満足だった 2. 普通 3. 不満だった 4. 利用したことがない</p> <p>⑯ 保健管理センターについて, 満足度を教えてください。 1. 満足だった 2. 普通 3. 不満だった 4. 利用したことがない</p> <p>⑰ 図書館について, 満足度を教えてください。 1. 満足だった</p>

2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑱ 授業以外の学生生活を充実して過ごすことができましたか。

1. とても充実していた
2. やや充実していた
3. 普通
4. あまり充実していなかった
5. まったく充実していなかった

⑲ 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート体制やサービス内容・メニューは十分なものでしたか。

1. 十分であった
2. 普通
3. 十分ではなかった
4. わからない

⑳ 学生生活を振り返って、学生活動支援や施設等に対する意見や希望がありましたら、自由に記述してください。

自由記述「(全角 1,000 文字以内) 」

---進路・職業選択及び就職活動に関して---

㉑ 下記のキャリア支援プログラムで参加又は利用したものはどれですか。(複数選択可)

1. 新入生に対するオリエンテーションでのキャリアガイダンス
2. 1年次生に対する教養ゼミでのキャリアデザイン講義
3. 2年次生に対する「キャリアデザインノート」
4. 3年次生(M1生を含む)に対する就職ガイダンス
5. 卒業生によるキャリアセミナー
6. 合同キャリアセミナー
7. 学内セミナー
8. 進路・就職相談

㉒ 設問㉑で無回答の方に聞きます。参加しなかった(できなかった)理由は何ですか。(複数選択可)

1. 知らなかった
2. 興味がなかった
3. 必要性を感じなかった
4. 授業時間と重なった
5. 研究活動と重なった
6. アルバイトと重なった(優先した)
7. 課外活動と重なった(優先した)
8. その他

㉓ 設問㉑に回答した方に聞きます。下記のキャリア支援プログラムで、キャリア形成や就職活動に役立ったものは何ですか。(複数選択可)

1. 新入生に対するオリエンテーションでのキャリアガイダンス
2. 1年次生に対する教養ゼミでのキャリアデザイン講義
3. 2年次生に対する「キャリアデザインノート」
4. 3年次生(M1生を含む)に対する就職ガイダンス
5. 卒業生によるキャリアセミナー
6. 合同キャリアセミナー
7. 学内セミナー
8. 進路・就職相談
9. もみじの進路就職システム(求人検索・卒業生検索・就職活動コメントなど)

㉔ あなたは大学入学後に次のインターンシップに参加したことがありますか。(複数選択可)

1. キャリアセンターが運営するインターンシップ
2. 各学部・研究科等が運営するインターンシップ
3. 各種団体・企業等が実施するインターンシップ
4. その他
5. 参加したことはない

㉕ インターンシップに参加したのは何年次のときですか。(複数選択可)

1. 1年次生
2. 2年次生

3. 3年次生
4. 4年次生
5. M1年次生
6. M2年次生

㉔ 就職活動において、何社（公務員試験の応募も含む）にエントリーシートを提出しましたか。

1. 100社以上
2. 50社以上100社未満
3. 30社以上50社未満
4. 10社以上30社未満
5. 10社未満
6. 該当しない（進学等のため）

㉕ 何社（公務員試験の内定も含む）から内々定をもらいましたか。

1. 10社以上
2. 5社以上10社未満
3. 2社以上5社未満
4. 1社
5. なし
6. 該当しない（進学等のため）

㉖ 就職活動を振り返って、どのように感じましたか。（複数選択可）

1. 充実した就職活動
2. 不本意ではあるが納得できる就職活動
3. 就職活動の準備不足
4. 首都圏・関西圏との比較における地方大学の不利さ
5. その他
6. 就職活動はしていない

㉗ あなたの進路・就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等がありましたら、自由に記述してください。

自由記述「(全角 1,000 文字以内)

」